

令和元年度

福島町議会定例会 6 月会議

令和元年 6 月 2 0 日 (木)

諸般の報告
(第 1 号)

福島町議会

提出された案件

1 町長提出

- 議案第8号 福島町ふるさと応援基金条例の一部改正について
議案第9号 福島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第10号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
議案第11号 福島町過疎地域自立促進市町村計画の変更について
議案第12号 北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について
議案第13号 北海道市町村総合事務組合理約の変更について
議案第14号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更について
議案第15号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第2号）
議案第16号 令和元年度福島町浄化槽整備特別会計補正予算（第1号）
議案第17号 丸山団地町営住宅（R1棟）建築主体工事請負契約の締結について
議案第18号 財産（福島町福祉バス）の取得について
報告第2号 福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告について

2 議会提出

- 発委第1号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について

町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

| | | | |
|---------------|---------|---------------|---------|
| 町長 | 鳴海 清春 | 副町長 | 高木 壽 |
| 総務課長 | 工藤 泰 | 総務課参事 | 小鹿 一彦 |
| 企画課長 | 住吉 英之 | 産業課長 | 川合 力哉 |
| 税務課長兼会計管理者 | 西田 啓晃 | 町民課長兼吉岡支所長 | 鎌田 一志 |
| 福祉課長 | 鍋谷 浩行 | 建設課長 | 紙谷 一 |
| 認定こども園福島保育所園長 | (鎌田 一志) | 福祉センター次長 | (石岡 大志) |
| 教育長 | 前田 勝広 | 事務局長兼給食センター所長 | 石岡 大志 |
| 監査委員 | 本庄屋 誠 | | |

職務のため出席した議会事務局職員

| | | | |
|--------|-------|----|-------|
| 議会事務局長 | 阿部 憲一 | 係長 | 福井 理央 |
| 主査 | 中島 和俊 | 書記 | 平野 文子 |

監査報告

6月11日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。（水道事業会計）

- 6月14日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。
〔一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、浄化槽整備特別会計、国民健康保険診療所特別会計〕

一部事務組合議会の報告

- 5月28日 佐藤孝男議員から、令和元年度第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の報告があった。

福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告

- 5月31日 町長より、平成30年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告があった。

議会評価及び議員自己評価等

- 4月3日 平成30年度議会評価を決定した。
5月9日 平成30年度議員の自己評価及び令和元年度議員活動の目標（公約）を集約した。（9人提出）

休会中の所管事務調査の申出

- 6月17日 総務教育常任委員会から、休会中の所管事務調査等の申し出があった。
6月17日 経済福祉常任委員会から、休会中の所管事務調査等の申し出があった。
6月17日 広報広聴常任委員会から、休会中の所管事務調査等の申し出があった。
6月17日 議会運営委員会から、休会中の所管事務調査等の申し出があった。

議会に関連した諸行事（令和元年度福島町議会定例会5月会議後、本日まで）

- 6月1日 福島小学校大運動会（議長ほか）
6日 デマンドバス運行に係る三師会との意見交換（議長ほか）
9日 福島消防団総合訓練大会（議長ほか）
10日 正・副議長への定例会6月会議議案説明（議長ほか）
11日～12日 北海道町村議会議長会定期総会・議長研修会（札幌市、議長）
13日 一般質問通告（議長ほか）
〃 議会運営委員会（定例会6月会議の運営）
15日 札幌福島会（札幌市、議長ほか）
17日 総務教育常任委員会（定例会6月会議後の休会中の所管事務調査）
〃 経済福祉常任委員会（定例会6月会議後の休会中の所管事務調査）
6月17日 定例会6月会議議案勉強会（議長ほか）
18日 岩手県葛巻町議会視察受入れ（議長ほか）
20日 定例会6月会議

渡島廃棄物処理広域連合議会の報告

令和元年5月27日に開催された、令和元年度第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和元年6月20日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

渡島廃棄物処理広域連合議会の報告

令和元年5月28日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

渡島廃棄物処理広域連合議会議員
報告者 佐藤 孝男

令和元年5月27日に開催された、令和元年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の報告をする。

1 臨時会の主な内容

今年4月の統一地方選挙において、当組合を構成する北斗市をはじめ木古内町、七飯町、森町、長万部町で議会議員選挙が執行され、これに伴い正副議長の選挙及び議会運営委員の選任、副広域連合長の選任等の議案が提出されました。

また、北海道市町村職員退職手当組合等3組合において、構成団体脱退による規約の変更議案の提出がありました。

2. 審議した議案の内容

| 件 名 | 内 容 |
|------------------|---------------------|
| 選挙第1号 議長の選挙について | 中井 光幸氏（北斗市）に決定しました。 |
| 選挙第2号 副議長の選挙について | 竹田 努氏（木古内町）に決定しました。 |

| | |
|---|--|
| <p>発議案第1号 議席の指定について</p> | <p>次のとおり議席を指定しました。</p> <p>7番 竹田 努 (木古内町) 8番 相澤 巧 (木古内町) 9番 畑中 静一 (七飯町) 10番 平松 俊一 (七飯町) 13番 堀合 哲哉 (森 町) 14番 斉藤 優香 (森 町) 17番 高橋 克英 (長万部町) 18番 北川 佳嗣 (長万部町) 19番 寺澤 十郎 (北斗市) 20番 伊藤 洋平 (北斗市) 21番 中井 光幸 (北斗市)</p> |
| <p>発議案第2号 議会運営委員の選任について</p> | <p>次のとおり議会運営委員を選任しました。</p> <p>6番 成澤 五郎 (知内町) 9番 畑中 静一 (七飯町) 12番 三谷 百十樹 (鹿部町) 16番 大久保 建一 (八雲町) 19番 寺澤 十郎 (北斗市)</p> |
| <p>同意第1号 副広域連合長の選任につき同意を求めることについて 【原案同意】</p> | <p>北斗市副市長 工藤 実 氏の選任に同意しました。</p> |
| <p>議案第1号 北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について 【原案可決】</p> | <p>組合を構成する3団体が解散し、組合を脱退したため、別表を変更しました。</p> |
| <p>議案第2号 北海道市町村総合事務組合理約の変更について 【原案可決】</p> | <p>組合を構成する3団体が解散し、組合を脱退したため、別表を変更しました。</p> |
| <p>議案第3号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更について 【原案可決】</p> | <p>組合を構成する4団体が解散し、組合を脱退したため、別表を変更しました。</p> |

※議案・関係資料は、議会事務局に保管してありますので、ご参照ください。

福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告

令和元年5月31日付けで、平成30年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和元年6月20日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

- 1 平成30年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等について

○福島町ふるさと応援基金の運用状況等について

福島町ふるさと応援基金の平成30年度の運用状況等は、次のとおりです。

1. 寄付金の内訳（平成31年3月31日現在）

| 事業の種類 | 件数 | 寄附金額 | | 処分量額 | | 残高 | |
|---------------------------|-------------|-------------|-----------|------------|-------|-------|-------------|
| | | ①（累計） | ②（累計） | ③（累計） | ④（累計） | ⑤（累計） | ⑥（累計） |
| 1. 産業の充実及び整備に関する事業 | 134件 | 2,070,000円 | 213,000円 | 179,000円 | | | 2,104,000円 |
| 2. 生活環境の整備及び健康福祉の充実に関する事業 | 83件 | 6,345,305円 | 0円 | 0円 | | | 6,345,305円 |
| 3. 人材育成及び文化の向上に関する事業 | 87件 | 3,499,970円 | 0円 | 1,361,000円 | | | 2,138,970円 |
| 4. コミュニティその他まちづくりに関する事業 | 34件 | 490,000円 | 297,000円 | 396,000円 | | | 391,000円 |
| 5. 特に指定なし | 600件 | 14,870,947円 | △510,000円 | 0円 | | | 14,360,947円 |
| 合計 | 実件数 905件 | 27,276,222円 | 0円 | 1,936,000円 | | | 25,340,222円 |

※1

2. 基金運用状況

（単位：円）

| 区分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 （※5） | 備考 |
|---------------|-------------|-----------|-----|-----------|----------------------|--|
| | | 元金及び利息 | | | | |
| | | 積立金 | 支消金 | 差引 | | |
| 道南うみ街 信用金庫 | 24,435,000 | 1,225,000 | 0 | 1,225,000 | 25,660,000 | うち利息（累計） 447,915円 ※2 うち一財（累計） 1,863円 ※3 |

注①平成30年度3月会議で議決された補正予算額（1,225千円）の積立であること。

②積立金累計残高を千円単位に調整するため、寄附金額1,170,000円と預金利息54,828円の合計額である1,224,828円に一般財源172円を加算し、1,225,000円を積み立てるものであること。

③決算年度末残高から、これまでの利息と一般財源を差し引いた元金は25,210,222円で、上記1の残高合計額との差額130,000円（※4）は、令和元年度（平成31年度）に積み立てるものであること。

④※5の額から※2及び※3の額を引いた額に※4の額を足した額が※1となります。

議会の評価及び議員の自己評価の結果

議会基本条例第17条の規定により、議会の評価及び議員の自己評価等を決定したので、これを報告する。

令和元年6月20日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

- 平成30年度 「議会の評価」
- 平成30年度 「議員の自己評価」
- 令和元年度 「議員活動の目標（公約）」

平成30年度 議会の評価・議員の自己評価の結果

平成30年度の「議会評価」結果

議会は、町民に議会・議員の活動内容を周知し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図るため、しっかりと現状を把握し議会の評価を行っています。

議会活動を主要10項目と具体的な37項目に区分し議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月25日決定）が評価して町民に公表するものです。

平成30年度には、「福島町議会活動評価要綱」を制定し、今回から同要綱に基づき、実施しました。

前年度との比較で良化・悪化した項目はありませんでしたが、本年度も引き続き、「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな福島町のために不断の努力を続けてまいります。

【評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達成していない」 ▲＝「取組みが必要」】

| 主要評価項目 | 具体的な項目 | 過去3年間の評価 | | | H30 評価 | 摘 要 |
|------------------|-----------------|----------|-----|-----|-----------|---|
| | | H27 | H28 | H29 | | |
| 1. 議会の 活性度 | ①一般質問 | △ | △ | △ | ○ | 昨年度に比べ質問者の延べ人数、項目数共に2件増加した。1定例会平均質問者数4.0人(44.4%)（全国6.1人(51.0%)、全道4.5人(40.5%)、渡島管内4.3人(34.9%)）となっている。より、積極的な一般質問への取組みが必要である。 |
| | ②一般質問答弁事項等追跡調査 | △ | △ | ○ | ○ | 本会議、予算審査・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。（追跡調査件数H28=5件、H29=2件、H30=2件） |
| | ③質疑・意見交換 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議、予算・決算審査特別委員会での審議も活発に行っている。引き続き質疑内容を充実する。（平均質問者・件数：定例7.8人31.3回、定例外3.7人6.3回、委員会3.1人12.2回）（平均意見交換件数：定例4.5人14.3回、定例外3.7人12.3回、委員会3.5人19.7回） |
| | ④討議・討論（本会議） | △ | △ | △ | ▲ | 常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き論点・争点を明らかにした討議・討論への取組みが必要である。（H29=0件、H30=0件） |
| | ⑤討議（委員会） | ○ | ○ | ○ | ○ | 各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。（H30開催日数：常任委員会=18日、特別委員会=9日） |
| | ⑥議員提案 | ○ | ○ | ○ | ○ | 一般質問項目を常任委員会で検討しているが、所管調査として取組む事案はなかった。所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されるようになっている。条例提案による政策反映に至る案件はなかった。 |
| | ⑦文書質問 | △ | △ | △ | ▲ | 質問が特定の議員に偏っている。政策提案等に向けた文書質問への取組みが必要である。（H29=実3人、5項目 H30=実2人、8項目） |
| 2. 議会の 公開度 | ①委員会の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本年度は100%公開し、委員会もライブ中継を行っている。 |
| | ②審議記録の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | ホームページで全て公開している。 |
| | ③審議前の会議資料の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 基本的に全て公開している。 |
| | ④議会経費の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 決算内容を含め、交際費・政務活動費などの詳細も全て議会だより・HPで公開している。 |
| | ⑤視察報告の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議・ホームページで公開している。 |
| | ⑥全員協議会の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | ライブ中継・録画配信を行っている。 |
| | ⑦会議公開の充実（ライブ中継） | ○ | ○ | ○ | ○ | 適宜、配信機器の更新を実施し、鮮明な映像配信を行っている。町民からの要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能（録画配信のみ）となった。全道=73議会（議会中継実施） |
| 3. 議会の 報告度 | ①議会だより・速報版等の発行 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。H28.6月発行分からは文字サイズを拡大している。全道=単独発行122議会 |
| | ②議会ホームページの運用 | ○ | ○ | ○ | ○ | H28年3月より議会ホームページをリニューアルした。引き続き、迅速な公開に努める。全道HP=126議会 |

| 主要評価項目 | 具体的な項目 | 過去3年間の評価 | | | H30 評価 | 摘 要 |
|---------------|-------------------------|----------|-----|-----|-----------|--|
| | | H27 | H28 | H29 | | |
| 4. 住民参加度 | ①各種団体との懇談会の開催(常任委員会の活動) | △ | △ | △ | △ | テーマと開催方法(住民主催等)を工夫した取組みが必要である。 [懇談会:H28=2回、H29=2回、H30=2回] |
| | ②町民と議員との懇談会の開催 | ○ | ○ | ○ | ○ | H30も議員を3班に分け町内会単位で実施した。引き続き懇談内容の充実への取組みが必要である。 (H29=6日間・18会場103人、H30=6日間・18会場106人) 全道=68議会 |
| | ③参画者への対応と参加度 | ○ | ○ | ○ | ○ | 参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 (H29=定例18人、平均4.5人 定例外8人、平均1.6人) (H30=定例18人、平均4.5人 定例外7人、平均2.3人) (全道平均=定例11.6人、定例外1.7人) |
| | ④休日・夜間議会の開催 | ○ | ○ | ○ | ○ | H19から夜間議会を開催している。休日議会は未実施である。 (参画者H29=6人、H30=8人) 全道=夜間6議会、休日8議会 |
| 5. 議会の民主度 | ①一般質問の一問一答方式 | ○ | ○ | ○ | ○ | 一問一答方式を実施している(H12)。質問回数と時間制限の規定を廃止している(H20)。 全道=114議会(一問一答方式採用) |
| | ②説明員との対面方式 | ○ | ○ | ○ | ○ | 庁舎建設時から実施している(H6)。 全道=129議会 |
| | ③一般質問の答弁書配付 | ○ | ○ | ○ | ○ | 実施済み(H13.9)。質問に関する的確な(漏れや補足答弁を必要としない)通告書、答弁書となるように改善していくことが必要である。 |
| 6. 議会の監視度 | ①長との適正な関係の維持 | ○ | ○ | ○ | ○ | 福島町議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定(H20)、前記条例の内容を拡充した福島町議会議員政治倫理条例を制定(H30)、町長との適正な緊張関係を維持している。 |
| | ②全員協議会の適切な運用 | ○ | ○ | ○ | ○ | 事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。 |
| | ③議会機能(けん制・批判・監視等)の適切な遂行 | ○ | ○ | ○ | ○ | 定例会毎に議会運営に係る反省点を洗い出し行政側に説明し文書を手交している。又、常任委員会で取りまとめた調査意見(報告書)を行政側に手交し説明することで委員会の意向が政策に反映されるようになっている。 |
| 7. 議会の専門度 | ①所管事務調査の充実強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見(報告書)を行政側に手交し説明している。[H30調査件数20件] |
| | ②政策立案・審議能力の向上強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 各常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ・町内会館等管理方針の見直しについて ・岩部地区交流センター管理条例の制定について ・陸上アワビ養殖施設の状況について ・合葬式墓地整備事業について ・水道事業の簡易水道への移行について 等 |
| | ③議決権範囲の拡大 | ○ | ○ | ○ | ○ | 町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実に繋がっている。平成28年度・30年度に見直しを行っており現在の議決事件は14件となっている。 |
| 8. 事務局の充実度 | ①議場・委員会室の整備充実 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議場映像設備(H27)、議場等音響設備(H28)の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。 |
| | ②事務局の充実強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 情報公開の迅速化、充実した情報・資料収集、法務能力の向上などに取り組んでいる。体制は正職員3人、臨時1人で充実している。 |
| 9. 適正な議会機能 | ①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止 | ○ | ○ | ○ | ○ | 法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。 |
| | ②適正な議会経費 | ○ | ○ | ○ | ○ | 諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定、平成30年度見直しした。(当初標準額=3,184千円・H30見直し標準額=4,355千円) |
| | ③議会の自主性強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、全体的にわかりやすく改正、新たに2条例・7要綱を制定(議会参画条例・政治倫理条例等) |
| | ④議会付属機関の設置 | ○ | ○ | ○ | ○ | 福島町議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。 |
| | ⑤系統議長会の体制整備 | ○ | ○ | ○ | ○ | 道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。(資料提供、道内の町村議会のリンク等) |
| 10. 研修活動の充実強化 | ①研修の効率的な取組み | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告会を開催し情報共有を図っている。また、町の懸案事項等に関連して真狩高等学校(特色ある高等学校教育の取り組み)、仁木町議会(議選監査委員の廃止)を視察研修している。 |

議会評価に対する諮問会議意見

5月13日に開催された「議会基本条例諮問会議」の意見は、次のとおりでした。

◎新たに追加する項目・意見は無く、議員による議会評価も適切に行われている。

(2) 平成30年度分の「議員の自己評価」結果

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で14回目となります。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の151項目中、「○ほぼ満足」は79件で52%、「△努力が必要」は65件で43%、「▲さらに努力が必要」は7件で5%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の151項目中、「○ほぼ満足」は45件で30%、「△努力が必要」は68件で45%、「▲さらに努力が必要」は38件で25%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が52%であるが、結果の評価では30%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取り組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、3名の議員から報告がありました。

○議員別の評価集計

| 議員名 | 杉村志朗 | | 川村明雄 | | 花田 勇 | | 木村 隆 | | 平沼昌平 | | 佐藤孝男 | |
|------------|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|
| | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 |
| ○ ほぼ満足 | 4 | 3 | 14 | 5 | 10 | 2 | 5 | 3 | 17 | 10 | 15 | 10 |
| △ 努力が必要 | 9 | 8 | 6 | 10 | 1 | 9 | 4 | 6 | 1 | 7 | 0 | 5 |
| ▲ さらに努力が必要 | 0 | 2 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 計 | 13 | 13 | 20 | 20 | 11 | 11 | 9 | 9 | 18 | 18 | 15 | 15 |

| 議員名 | 熊野茂夫 | | 平野隆雄 | | 溝部幸基 | | 合計 | |
|------------|------|----|------|----|------|----|-----|-----|
| | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 |
| ○ ほぼ満足 | 9 | 8 | 3 | 2 | 2 | 2 | 79 | 45 |
| △ 努力が必要 | 3 | 4 | 15 | 9 | 26 | 10 | 65 | 68 |
| ▲ さらに努力が必要 | 0 | 0 | 1 | 8 | 6 | 22 | 7 | 38 |
| 計 | 12 | 12 | 19 | 19 | 34 | 34 | 151 | 151 |

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「結果」＝結果の評価〕

○議員個人としての活動

| | 川村明雄 | 花田 勇 | 溝部幸基 |
|-------------|------|------|------|
| 報告会等の実施 | — | 2 | 1 |
| 議員だよりの発行 | — | — | — |
| 個人ホームページの開設 | ○ | — | ○ |
| その他 | — | — | — |

●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、9名の議員で総数136項目（昨年度：10名提出 155項目）となりました。

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」
 評価期間：平成30年4月～平成31年3月

杉村志朗 70歳

経済福祉常任委員会委員 議員歴20年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|-------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 職員の健康管理に対する取組 | △ | ○ |
| | 町民に不安のない町づくり | △ | △ |
| | 今後の各施設に関する指定管理者問題 | △ | △ |
| 財政 | 健全財政運営 | ○ | ○ |
| | 空家住宅（景観条例）等の助成見直し | △ | △ |
| 経済 | 産業団体との積極的懇談 | ○ | ○ |
| | 水産加工業の安定支援 | △ | △ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|--------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 高齢者に対する各種行事の参加増 | ○ | △ |
| 教育 | 学校の環境美化の改善 | △ | △ |
| | 委託施設の管理の徹底強化 | △ | △ |
| | 福島高校への入学者増に向けた対策強化 | △ | ▲ |
| その他 | 観光施設の充実誘致（観光客増期待） | ○ | ▲ |
| | 一次産業（農業・漁業）の安定生活 | △ | △ |

川村明雄 73歳

総務教育常任委員会委員長、議会運営委員会委員 議員歴12年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 定住及び少子化対策への政策提言 | ○ | △ |
| | 住民が誇れる魅力あるまちづくりの考察と提言 | ○ | △ |
| | 町内の国道改良及び第二の青函トンネル構想推進 | ○ | △ |
| 財政 | ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用 | △ | ▲ |
| | 町総合計画と将来的安定財源の確保、推進 | ○ | △ |
| | 「道の駅」構想に関する経済、財政面からの考察 | △ | △ |
| 経済 | 空き家活用の対策提言 | ○ | ▲ |
| | 起業及び企業者支援対策の考察、推進 | △ | △ |
| | 定住促進に繋がる経済対策の考察、提言 | △ | △ |
| 福祉 | 少子化対策と子育て支援対策の推進 | ○ | ○ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|--------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言 | △ | ▲ |
| | 住民の望む医療対策の充実確保 | ○ | ○ |
| 教育 | 福島高校存続対策の推進及び小中高一貫教育の考察 | ○ | ▲ |
| | 学校教員の労働過重問題への考察、検討 | ○ | ○ |
| | 生涯学習課題の考察と推進 | ○ | △ |
| その他 | 松前半島道路計画の推進 | △ | △ |
| | 町内会を始めとするボランティア及び文化活動の推進 | ○ | ○ |
| | 原子力発電からクリーンエネルギー社会への考察 | ○ | ▲ |
| | 長寿と定住に繋がる関係課題の考察探究 | ○ | △ |
| | 介護・子育て・防災減災・中小企業アンケートの実施 | ○ | ○ |

花田 勇 78歳

経済福祉常任委員会副委員長、議会運営委員会副委員長、渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴8年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|----------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 福島町の活性化への提言 | ○ | △ |
| | 町民のために経費削減しながらの行政で在るため努力 | ○ | △ |
| 財政 | いかに財政健全で安定した行政で在るかを提言 | ○ | △ |
| 経済 | 一次産業が元気になるよう今後努力 | ○ | △ |
| | 陸上養殖アワビ事業や間引き昆布等のさらなる推進に提言 | ○ | ○ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|------------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 町民のための町立診療所の安定した運営に努力 | ○ | △ |
| | 高齢者や障害者に対する公共施設の充実 | △ | △ |
| 教育 | 小中学校生の学力向上に努力 | ○ | △ |
| | 福島小学校と吉岡小学校の統合問題を注視 | ○ | △ |
| その他 | 町民と議員との懇談会に参加者が多くなり活発になるよう努力 | ○ | △ |
| | 各種行事への参加 | ○ | ○ |

木村 隆 39歳

総務教育常任会副委員長、監査委員 議員歴 12年

| 分野 | 具 体 的 な 項 目 | 評 価 | |
|----|--------------------------------|-----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 総合計画後期に向けた提言 | ○ | ○ |
| 経済 | 松前半島高規格道路整備の推進 | △ | △ |
| | 都市計画に基づく町、地域のあり方を考える（コンパクトシティ） | ○ | ○ |
| | 改良住宅建て替え、子育て住宅建設への注視 | △ | △ |

| 分野 | 具 体 的 な 項 目 | 評 価 | |
|-----|--------------------|-----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 資格者確保への提言（保育士、看護師） | ○ | △ |
| 教育 | 高校存続の新しいしくみ作り | △ | △ |
| | 学校選択制スタートへの提言 | ○ | ○ |
| その他 | 観光協会の事務体制のあり方 | △ | △ |
| | 新たな道の駅政策の注視 | ○ | △ |

平沼昌平 63歳

議会運営委員会委員長、経済福祉常任委員会委員 議員歴 14年

| 分野 | 具 体 的 な 項 目 | 評 価 | |
|----|--------------------------------|-----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 雇用の場の創出に向けた提言 | ○ | △ |
| | 防災対策に対する提言と危機管理の充実に向けた取組の提言 | ○ | ○ |
| 財政 | 効率的な事務事業を検証し、経費節減に対して提言 | ○ | ○ |
| 経済 | 後継者育成と定住促進に向けた提言 | ○ | △ |
| | 一次産業に対する施設整備の提言と経営安定化に対する提言 | ○ | ○ |
| | 町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言 | ○ | ○ |
| 福祉 | 高齢者の生活環境の充実とサポート体制への提言 | ○ | ○ |
| | 健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言 | ○ | △ |
| | 在宅介護支援体制の充実した体制づくりの提言 | ○ | △ |

| 分野 | 具 体 的 な 項 目 | 評 価 | |
|-----|---|-----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 教育 | 少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方の提言 | △ | △ |
| | 社会教育施設環境の整備に対する提言 | ○ | △ |
| その他 | 松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言 | ○ | ○ |
| | 有害鳥獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域化（4町）取組の環境整備に対する提言 | ○ | ○ |
| | 吉岡総合センターの活用と運営に対する提言 | ○ | ○ |
| | 安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対する提言 | ○ | ○ |
| | 漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言 | ○ | △ |
| | 水産加工業に対する支援体制と雇用体制の充実に対する提言 | ○ | ▲ |

佐藤孝男 72歳

総務教育常任委員会委員、渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴 24年
渡島廃棄物処理広域連合議会議員、議会運営委員会委員

| 分野 | 具 体 的 な 項 目 | 評 価 | |
|----|---------------------------|-----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 防災対策の推進 | ○ | ○ |
| | 各公共施設の改修と今後の管理運営 | ○ | ○ |
| | がんばる応援基金の有効利用の推進 | ○ | ○ |
| 財政 | 将来を見据えた無駄のない財政健全化の推進 | ○ | ○ |
| | 総合計画の推進、ローリングのチェック強化 | ○ | ○ |
| 経済 | しいたけ、ほだ木の確保と将来への見通し | ○ | △ |
| | 一次産業（農業・漁業）の振興、新規就業者の育成 | ○ | △ |
| | 養殖事業（アワビ・ウニ・ナマコ）の推進と事業の検証 | ○ | ○ |

| 分野 | 具 体 的 な 項 目 | 評 価 | |
|-----|-----------------------|-----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 介護予防サービスの充実強化 | ○ | ○ |
| | 予防医療の推進 | ○ | △ |
| 教育 | 学校給食センターにおける地場産物利用の強化 | ○ | △ |
| | 福島商業高校存続の対策強化、推進 | ○ | △ |
| | 食育への取組みとして体験学習の実施 | ○ | ○ |
| その他 | 各種行事等の参加 | ○ | ○ |
| | 町内会活動の積極的な取組み | ○ | ○ |

熊野茂夫 69歳

経済福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員 議員歴8年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|---------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 「総合計画」の確実な推進とその検証 | ○ | ○ |
| | 大型公共施設の再整備と改修への諸提言 | ○ | △ |
| 財政 | 将来を見据えた予算編成への諸提言 | ○ | ○ |
| | 過去の諸施策を財政的視点より検証 | ○ | ○ |
| 経済 | 「養殖事業」の安定と発展のための諸提言 | △ | △ |
| | 農林業への実効性のある諸施策の提言 | ○ | ○ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|----------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への提言 | △ | △ |
| | 国民健康保険・介護保険会計の健全な財政運営への諸提言 | ○ | ○ |
| 教育 | 学校教育施設の再編及び充実のための施策提言 | ○ | ○ |
| | 社会教育への諸施策の提言 | ○ | ○ |
| その他 | 各地域の実情に応じた、生活環境改善への提言 | ○ | ○ |
| | 「道の駅」の改修及び新設への提言 | △ | △ |

平野隆雄 70歳

副議長、広報・広聴常任委員会委員長、総務教育・経済福祉常任委員会委員、渡島廃棄物処理広域連合議会議員

議員歴23年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|-----------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 第二の青函トンネル構想推進 | ○ | ▲ |
| | 町内景気の活性化の推進 | △ | ▲ |
| | 福島川改修事業の推進 | △ | ▲ |
| 財政 | 財政健全化の確立 | △ | △ |
| | 各町内会館の利用等をふまえ再編推進 | △ | △ |
| | 町立診療所運営の健全経営の実現 | △ | ▲ |
| 経済 | 養殖コンブ製品増の推進 | ○ | ○ |
| | 蝦夷アワビ（養殖）の新たなブランド開発推進 | △ | ▲ |
| | 町内各産業の新たなブランド開発推進 | △ | ▲ |
| | 町内起業家の育成、支援対策 | △ | △ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|--------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言 | ▲ | ▲ |
| | 吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増の提言 | △ | △ |
| | がん検診の検診率向上推進 | △ | △ |
| 教育 | 少子化の中の教育行政の研修推進 | ○ | ○ |
| | 学芸員配置で縄文土器等による町づくり | △ | △ |
| | 福島商業高等学校入学増へ対策強化推進 | △ | △ |
| その他 | 学校における相撲人口増の推進 | △ | △ |
| | 岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進 | △ | △ |
| | 伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR活動等への提言 | △ | ▲ |

溝部幸基 71歳

議長、総務教育・経済福祉常任委員会委員、渡島西部広域事務組合議会議長

議員歴39年 議員歴38年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|------------------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（総合計画条例に関する提言） | △ | △ |
| | 自律、協働の「小規模多機能自治」調査研修 | △ | ▲ |
| | 「公契約条例」に関する調査研修 | △ | ▲ |
| | 行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等） | △ | ▲ |
| | 防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修） | △ | ▲ |
| | 「平和の町宣言」に関する調査研修 | △ | △ |
| | 浄化槽（下水道整備）の普及推進 | ▲ | ▲ |
| | 選挙運動費用公費負担制度の検証 | △ | ▲ |
| 財政 | 財政健全化への取り組み（予算決算審査・行政評価充実：基金有効活用） | △ | △ |
| | 退職手当制度の抜本的改善 | ▲ | ▲ |
| | 地方自治法改正による監査制度の検証（議選監査委員・議会監査の在り方） | △ | ▲ |
| 経済 | 新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設 | △ | △ |
| | 異業種連携による「福島ブランド」の開発 | △ | ▲ |
| | 地場産品の6次産業化に関する調査研修 | △ | ▲ |
| | 産業団体と課題に取組む産業公社の仕組みづくりの調査研修 | △ | ▲ |
| | 地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修 | △ | ▲ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|--|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 過疎自治体における超高齢化対策の調査研修 | △ | ▲ |
| | 「健康な町づくり」（全町的な取組）で医療費節減 | ▲ | ▲ |
| | 予防医療の推進 | ▲ | ▲ |
| | 在宅介護支援体制の整備 | △ | ▲ |
| | 上水道事業の簡易水道移行（基本水量・料金） | △ | △ |
| 教育 | 小中学校一貫教育に関する調査研修 | △ | ▲ |
| | 過疎自治体における高等教育推進の調査研修 | △ | ▲ |
| | 「子育て基本条例」制定に向けた取組（情報収集） | ▲ | ▲ |
| | 「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進 | △ | ▲ |
| その他 | 食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報収集・実践計画・研修） | △ | ▲ |
| | わかりやすく、町民が参加する議会の実現 | △ | △ |
| | 活発な討議（討論）ができる議会の実現 | △ | △ |
| | 政策的な提案のできる議会の実現 | △ | △ |
| | 町議会議員選挙への供託金制度導入 | ▲ | ▲ |
| | 幅広い情報収集、積極的な研修参加 | △ | △ |
| | 視察の積極的な受け入れ（湯川村・斜里町・山田町・宮古市・新篠津村・津軽市・小坂町・大村市・計8自治体69名：3市5町村） | ○ | ○ |
| | HPの充実（提案、情報発信、参加型） | △ | △ |
| | 各種行事、研修への参加（活動実日数272日） | ○ | ○ |

(3) 令和元年度（平成31年度）の「議員活動の目標」（公約）

議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：平成31年4月～令和元年8月

〔杉村志郎〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|---------------------|
| 行政 | 第2青函トンネル実現に向けた構想の推進 |
| | 状況に合った条例の見直し改正 |
| 財政 | 町民が安心できる財政健全化の推進 |
| | 空家住宅（景観条例）等の整備推進 |
| 経済 | 一次産業の安定支援 |
| | 養殖（ウニ・アワビ）の将来を考えた支援 |
| 福祉 | 高齢者による健康管理事業の確立推進 |
| | 高齢者に対する各種行事の参加増 |
| 教育 | 少子化による学校教育の充実 |
| | 福島高校への入学者増に向けた対策強化 |
| その他 | 岩部海岸クルーズ事業による観光客の増 |
| | 町内における花一杯運動の推進 |
| | 商店街の活性化 |

〔花田勇〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--|
| 行政 | 若者の定住のために、養殖施設の拡大や業種（新しい物）を多くする提言 |
| 財政 | 第5次総合計画の推進とともに無理のない財政運営の提言 |
| 経済 | 農業・漁業の後継者育成（一次産業活性化に対する提言） |
| 福祉 | 今後も高齢者や町民のための医療や安心安全なサポート体制を提言 |
| 教育 | 福島商業高等学校の存続のための提言 |
| その他 | 青の洞窟を始めとする2つの記念館等のPRを多くして観光客を呼び込むための提言 |

〔平沼昌平〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|---|
| 行政 | 雇用の場の創出に向けた提言 |
| 財政 | 効率的な事務事業を検証し、経費節減に対して提言 |
| 経済 | 後継者育成と定住促進に向けた提言 |
| | 一次産業に対する施設整備の提言と経営安定化に対する提言 |
| | 町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言 |
| 福祉 | 高齢者の生活環境の充実とサポート体制への提言 |
| | 健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言 |
| 教育 | 少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方の提言 |
| | 社会教育の充実と施設環境の整備に対する提言 |
| その他 | 松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言 |
| | 有害鳥獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域化（4町）取組の環境整備に対する提言 |
| | 吉岡総合センターの活用と運営に対する提言 |
| | 安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対する提言 |
| | 漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言 |
| | 水産加工業に対する支援体制と雇用体制の充実に対する提言 |

〔川村明雄〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--------------------------|
| 行政 | 定住及び少子化対策への政策提言 |
| | 第二の青函トンネル構想推進 |
| 財政 | ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用 |
| | 「道の駅」構想に関する経済、財政面からの考察 |
| 経済 | 空き家利活用の対策提言 |
| | 定住促進に繋がる経済対策の考察、提言 |
| 福祉 | 少子化対策と子育て支援対策の推進 |
| | 吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言 |
| | デマンドバスの利用拡大対策 |
| 教育 | 福島高校存続対策の推進及び小中高一貫教育の考察 |
| | 学校教員の働き方改革への考察、検討 |
| その他 | 松前半島道路計画の推進 |
| | 町内会を始めとするボランティア及び文化活動の推進 |
| | 長寿と定住に繋がる関係課題の考察探究 |

〔木村隆〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--------------------------------|
| 行政 | 総合計画後期に向けた提言 |
| 経済 | 松前半島高規格道路整備の推進 |
| | 都市計画に基づく町、地域のあり方を考える（コンパクトシティ） |
| | 改良住宅建て替え、子育て住宅建設への注視 |
| 福祉 | 資格者確保への提言（保育士、看護師） |
| 教育 | 高校存続の新しいしくみ作り |
| | 学校選択制スタートへの提言 |
| その他 | 観光協会の事務体制のあり方 新たな道の駅政策の注視 |

〔佐藤孝男〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|-----------------------------|
| 行政 | 防災対策の推進（避難訓練のあり方） |
| | 大型公共施設の整備と改修の提言 |
| | がんばる応援基金の見直しと有効利用の推進 |
| 財政 | 将来を見据えた財政健全化の推進 |
| | 総合計画の推進とチェックの強化 |
| 経済 | ほだ木の確保のため町有林の再調査と作業路の整備推進 |
| | 一次産業（農業・漁業）の振興、新規就業者の育成 |
| 福祉 | 予防医療の推進と健康フェスティバルを通して医療費の節減 |
| | 福島商業高校存続の対策強化 |
| 教育 | 学校給食センターにおける地場産物利用の強化 |
| | 食育への取組みとして体験学習の実施 |
| その他 | 各種行事の積極的な参加 |

〔平野隆雄〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|----|---------------------|
| 行政 | 第二の青函トンネル構想推進 |
| | 町内景気の活性化の推進 |
| | 福島川改修事業の早期実現 |
| 財政 | 財政調整基金の活用 |
| | 町立診療所運営の健全経営の実現 |
| | 各町内会館の再編推進 |
| 経済 | 養殖コンブ製品増の推進 |
| | 蝦夷アワビ（養殖）の新たな商品開発推進 |
| | スルメ加工以外の商品開発の推進 |

〔溝部幸基〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|----|-------------------------------------|
| 行政 | 「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証） |
| | 自律、協働の「小規模多機能自治」の調査研修 |
| | 「公契約条例」に関する調査研修 |
| | 行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等） |
| | 防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修） |
| | 「平和の町宣言」に関する調査研修 |
| | 浄化槽（下水道整備）の普及推進 |
| | 選挙運動費用公費負担制度の検証 |
| 財政 | 財政健全化への取り組み（行政評価：基金の活用） |
| | 退職手当制度の抜本的改善 |
| 経済 | 新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設 |
| | 異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討） |
| | 地場産品の6次産業化に関する調査研修 |
| | 産業団体と課題に取組む産業公社の仕組みづくりの調査研修 |
| | 地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修 |

〔熊野茂夫〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|----------------------------------|
| 行政 | 「総合計画」の確実な推進とその検証 |
| | 大型公共施設の再整備と改修への諸提言 |
| 財政 | 過去の諸施策を財政的視点より検証 |
| | 将来を見据えた予算編成への諸提言 |
| 経済 | 前浜漁業と「養殖事業」の安定と発展のための諸提言 |
| | 農林業への実効性のある諸施策の提言 |
| 福祉 | 高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への提言 |
| | 国民健康保険・介護保険会計の健全な財政運営への諸提言 |
| 教育 | 学校教育施設の再編及び充実のための施策提言 |
| | 社会教育への諸施策の提言 とりわけ、図書館充実のための提言 |
| その他 | 各地域の実情に応じた、生活環境改善への提言 |
| | 「道の駅」の改修及び新設への提言 |

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--|
| 福祉 | 超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言 |
| | 吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増の提言 |
| | がん検診の検診率向上推進 |
| 教育 | 少子化の中の教育行政の推進 |
| | 学芸員配置で縄文土器等による町づくり |
| | 福島商業高等学校入学増の推進 |
| その他 | 学校等における相撲人口増で横綱の里の推進 |
| | 岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進 伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進 |

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|-------------------------------------|
| 福祉 | 過疎自治体における超高齢化対策の調査研修 |
| | 「健康な町づくり」（全町的な取組）で医療費節減 |
| | 予防医療の推進 |
| | 在宅介護支援体制の整備 |
| 教育 | 簡易水道料金の見直し（用途別基本水量・水道料金） |
| | 小中学校一貫教育に関する調査研修 |
| | 過疎自治体における高等教育推進の調査研修 |
| | 「子育て基本条例」制定に向けた取組（情報収集） |
| その他 | 「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進 |
| | 食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修） |
| | わかりやすく、町民が参加する議会の実現 |
| | 活発な討議（討論）ができる議会の実現 |
| | 政策的な提案のできる議会の実現 |
| | 町議会議員選挙への供託金制度導入 |
| | 幅広い情報収集、積極的な研修参加 |
| | 視察の積極的な受け入れ |
| | ホームページの充実（提案・情報発信・参加型） |
| | 各種行事、研修への積極的な参加 |

休会中の所管事務調査等について

各常任委員会等から、休会中の所管事務調査等の通知があったので報告する。

令和元年6月20日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

- 総務教育常任委員会
- 経済福祉委員会
- 広報広聴常任委員会
- 議会運営委員会

福 議 委 号
令和元年6月17日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

総務教育常任委員会
委員長 川村 明雄

休会中の所管事務調査について

本委員会は、所管事務調査のうち次の事件等について、休会中に調査を要するものと決定したので、会議条例第145条の規定により通知します。

記

- 調査事件 3. その他所管に関する事項について

福 議 委 号
令和元年6月17日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

経済福祉常任委員会
委員長 熊野 茂夫

休会中の所管事務調査について

本委員会は、所管事務調査のうち次の事件等について、休会中に調査を要するものと決定したので、会議条例第145条の規定により通知します。

記

- 調査事件 3. その他所管に関する事項について

福 議 委 号
令和元年6月17日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

広報広聴常任委員会
委員長 平野 隆雄

休会中の所管事務調査について

本委員会は、所管事務調査のうち次の事件等について、休会中に調査を要するものと決定したので、会議条例第145条の規定により通知します。

記

- 調査事件 1. その他所管に関する事項について

福 議 運 号
令和元年6月17日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

議会運営委員会
委員長 平沼 昌平

休会中の所管事務調査等について

本委員会は、地方自治法第109条第3項に規定する事項について、休会中に調査等を要するものと決定したので、会議条例第145条の規定により通知します。